

委員会の主な活動状況 (6/11～7/10)

大都市税財政制度・人口減少対策 調査特別委員会

平成31年度国の施策及び予算に関する提案(通称～「白本」)について、財政局から、平成31年度国家予算等に対する札幌市重点要望事項についてまちづくり政策局から説明を受け、それぞれ質疑を行いました。(6/11)

平成31年度国の施策及び予算に関する提案(通称～「白本」)について、財政局から、平成31年度国家予算等に対する札幌市重点要望事項およびさっぽろ未来創生プランの取組状況等についてまちづくり政策局から説明を受け、それぞれ質疑を行いました。(7/2)

総合交通調査特別委員会

北海道新幹線について、北海道大学大学院工学研究院の副研究院長、五十嵐敏文氏から意見を聴取し、質疑を行いました。(6/28)

第3回定例会のお知らせ

本会議

平成30年第3回定例会は9/25(火)から10/31(木)まで開かれ、各会派の代表質問は、10/1(月)から3日間行われる予定です。

決算特別委員会

平成29年度の本市の決算について、局ごとに審査します。
日程:10/3(水)、10(木)、12(金)、16(火)、18(水)、22(月)、24(水)、25(木)、29(月)
※審議日程は変更になる場合があります。

傍聴のご案内

本会議や委員会の様子は、どなたでも傍聴することができます。本会議は市役所本庁舎18階傍聴席入り口へ、委員会は各委員会室へ直接お越しください。

■編集 札幌市議会事務局
政策調査課
☎211-3164 FAX218-5143
■市議会ホームページ
www.city.sapporo.jp/gikai



北海道新幹線の
札幌延伸

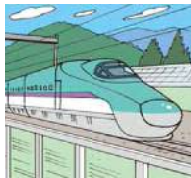
たなか けんじ
田中 啓介
日本共産党

北海道が試算した、新幹線の札幌延伸による経済波及効果はあまりに過大な見通しであり、JR北海道の経営への影響を踏まえると、延伸には全道民の議論と計画の再検討が必要と考えますが、いかがですか。

北海道の試算は、既存新幹線の事後調査結果なども用いた、一般的な手法で予測した妥当なものとして認識しています。北海道新幹線は、札幌延伸により初めてその効果が最大限発揮されるため、引き続き、北海道や沿線自治体と連携しながら、早期開業に向けて取り組みます。

新幹線のトンネル掘削工事の際、基準値を超える有害物質を含んだ残土(要対策土)の排出が想定されますが、市民の懸念や不安にどのように対応するつもりですか。また、残土の搬出先が決まっていない中で工事を開始するのは極めて問題と考えますが、いかがですか。

要対策土などの取り扱いについては、鉄道建設・運輸施設整備支援機構に関連法の順守と各種管理の徹底を求めるとともに、説明会などで丁寧な情報提供も行います。早期開業に向け、引き続き、搬出先の早期決定に努めます。



ウインタースポーツ
振興など

わたなべ ゆき
やぶゆき
行 泰行
公明党

オリンピック・パラリンピック招致を見据え、どのようにウインタースポーツを観戦する文化を定着させ、未来のアスリートが育つ環境を創出していくつもりですか。

観戦する市民を増やすため、ジャンプワールドカップ大会での選手との握手会など、楽しく観戦に集える取り組みを検討しています。また、子どもたちの競技力向上のため、ウインタースポーツ塾の参加人数拡大やオリンピック選手による直接指導で関心を高めるなど、競技に取り組む子どもを増やします。



国連サミットで採択された「持続可能な開発目標(SDGs)」に基づく取り組みや、人や社会・環境などに配慮した消費行動である「エシカル消費」に関する取り組みを積極的に進めるべきだと考えますが、いかがですか。

SDGsの考え方は、既に第2次札幌市環境基本計画に取り入れられており、今後も、その視点や趣旨を十分に踏まえた取り組みを全庁的に進めます。また、エシカル消費の考え方は、札幌市消費者基本計画にも反映されており、今後も、「自ら考え、判断し、行動する消費者」を育てるための教育や啓発を中心に取り組みを進めます。

インターネット議会中継

会議の様子をインターネットで中継しています。本会議や予算・決算特別委員会のほか、平成30年度から、調査特別委員会の中継もスタートしました。傍聴に来られない方も生中継で会議をご覧いただけるほか、会議終了からおおむね5日後には、録画映像も公開しています。市議会ホームページからご覧ください。



児童虐待には、経済的な影響や少子化・核家族化による育児知識の不足、世代間連鎖など、多岐にわたる背景があり、地域社会からの孤立や人的サポートの希薄さも重要な要因です。したがって、児童虐待はどこにでも起こり得るという認識に立って、不安を抱える家庭の状況をしっかりと把握し、適切な助言や子育て支援などに結び付けていくことが重要です。専門機関である児童相談所はもとより、親子と関係するそれぞれの職務において、各職員が児童虐待のリスクを十分に認識し、相談支援を行うことで、虐待発生の予防につなげていきます。

子どもの貧困対策計画と 就学援助における入学準備金

いづさき みちろう
岩崎 道郎

民主市民連合

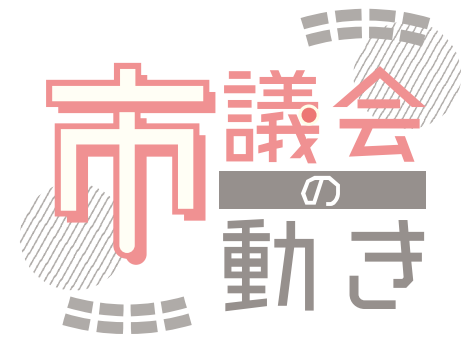


札幌市子どもの貧困対策計画で特に強化される取り組みと、新しく設置された子どものくらし支援担当課が果たすべき役割をどのように考えていますか。

子どもの貧困対策計画では、子どもや家庭が抱える困難を早期に把握し、必要な支援につなげる取り組みを特に推進すべきだと考えています。そのため、本年度は、関係機関と連携体制を構築するとともに、モデル事業として、困難を把握し必要な支援につなげるコーディネーターを配置するなど、相談支援体制の充実と特に力を入れて取り組みます。また、子どものくらし支援担当課は、計画を統括し、庁内の部局間や関係機関との連携を一層強化しながら、子どもの貧困対策を総合的に推進する役割を果たします。

就学援助における入学準備金について、中学校は平成29年度分から支給時期を入学前の3月に早めましたが、小学校は従来どおり入学後の6月に支給されます。しかし、入学の準備に費用が多いのは小学校も同じことです。小学校の入学準備金についても入学前に支給すべきだと考えますが、いかがですか。

小中学校とも、入学時は学用品の準備などで特に費用がかさみ、就学援助帯にとっても家計の負担が大きいのと認識しています。本市では、中学校の入学準備金について、小学校在籍時の就学援助情報を活用し、時期を早めて入学前に支給しています。このたび、小学校の入学準備金についても、対象帯の把握や支給方法などに一定のめどが付いたことから、来年から3月に支給を開始することとし、現在、準備を進めています。



5月17日に招集された第2回定例会の中から、5月23日、24日の代表質問の主な内容についてお知らせします。

家庭教育支援と児童虐待防止

まつい たかふみ
松井 隆文

自由民主党



人格の基礎は小学校入学以前の幼少期に形成されるという観点から、家庭教育を担う親への支援が全国的に広がっていますが、家庭教育の重要性についての認識を伺います。また、本市でも、家庭教育の実態調査を行うとともに、早期に家庭教育を支援する取り組みが必要であると考えますが、いかが伺います。

家庭教育は全ての教育の出発点であり、子どもが基本的な生活習慣、思いやりや基本的倫理観などを身に付けるために極めて重要であると認識しています。本市では、これまでも子育て支援の施策とともに、家庭教育学級や親子応援団といった「親育ち」に資する事業を行ってきました。今後、実態調査の必要性を検討するとともに、子育ての支援と家庭教育を応援する取り組みを一層進めていきます。

児童虐待は、保護者の抱えるさまざまな要因によって発生するため、児童相談所が対処するだけでは防ぐことができません。そこで、「児童虐待ゼロ」を目指して、全庁的に児童虐待の防止と対策に取り組む必要があると考えますが、いかが伺います。

